


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和4年 8月 16日

山北町議会議長 児玉 洋一 殿

| | | | | |
|---|-----------------------------|------|----|--|
| 受付番号 | 第5号 | 質問議員 | 2番 | 藤原 浩  |
| 件名 | やまきたまち鉄道レガシーの更なる活用推進で町の活性化を | | | |
| 要 旨 | | | | |
| <p>町長は、7月29日に行った所信表明で、山北町にしかない豊かな自然や歴史的資産の発展性を最大限に引き出し、それを地域振興につなげていく取り組みとして、「山北オンリーワンを磨き上げる政策」を掲げている。その1番目に、「蒸気機関車D52の軌道延伸」を掲げている。鉄道公園のD52は、日本で唯一動く蒸気機関車であり、昭和期の鉄道史を語る上で、大変貴重な車両である。また、明治22年東海道線の開通と同時に開業した山北駅は箱根越えの基地として栄え、山北駅前には、多くの商店が軒を並べ、大変な賑わいを見せていたという。そうした当時の繁栄を伺える痕跡が、山北駅周辺を含め御殿場線には、鉄道レガシーとして、多数存在している。そうした状況と町長の施策を鑑み、以下の質問を行う。</p> <p>1. 軌道敷を延伸したD52を活用した乗車体験や運転体験の実施を検討と掲げているが、現在まちにD52を操作できる人材がいないと認識している。以前に運転手の教育に参加していた方も、高齢化等の理由で現状では特に進展がうかがえないようである。取り組み予定の約30mの軌道敷延伸にあわせ、新たに町内在住の方は無償、町外参加者は有償で参加を公募し、D52運転手の人材育成に努めたらどうか。</p> <p>2. 御殿場線沿線、特に山北町内には、鉄道ファンのみならず、後世に伝えるべき貴重な鉄道レガシーが多数存在している。山北町でも2018年までは、「鉄道遺産巡りツアー」を開催し好評を博していた。いまだに新型コロナ感染のニュースが耳目を集める状況ではあるが、今年は、行動制限の無い夏休みを迎える事ができた。そうした状況を踏まえ、</p> | | | | |

今年度から「鉄道遺産巡りツアー」を町単独、もしくは民間団体と連携し、進める取り組みを再開してはどうか

3. 町の小学校では、町教育委員会で編纂した資料を用い、町の産業や歴史・文化について学ぶ教育を行っている。その中で「鉄道の町・山北」についても取り上げているが、鉄道レガシーについては触れていないようである。鉄道レガシーの中には、昭和20年（1945年）、海外向けの終戦玉音放送を行った箱根第5号トンネルもあり、町に暮らす人々に伝えるべき貴重なレガシーである。これから町教育委員会で改訂が予定される資料では、検討項目として掲げ、鉄道レガシーについて伝えるべきと考えるがどうか。